

2021年2月15日配信

稲山会オンライン通信①

発行人：行方正幸 発行所：稲門山の会事務局 TEL 03-3367-3723 FAX 03-3367-8150 ©稲門山の会1998



2021年稲門山の会オンライン総会の報告

2021年2月7日(月)10:00～11:30まで、稲門山の会(OB)役員11名、と早稲田大学山の会(現役)役員5名の合計16名で、オンラインによる総会を開催した。

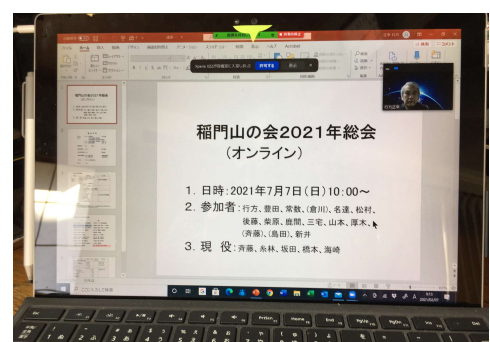
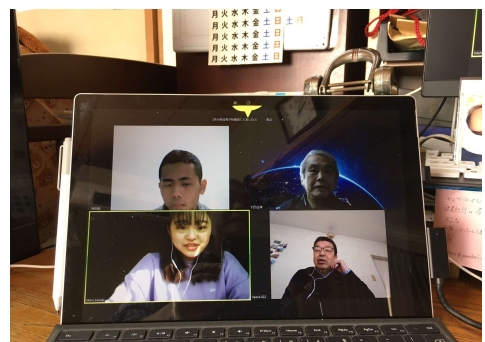
1月7日に新型コロナウイルスで2回目となる「緊急事態宣言」が発令され、3月まで延長となり、早稲田大学や校友会から多数集合する活動の中止・延期要請もあったことから、2月7日にホテルで予定していた総会を中止し、オンライン総会となった。



1. 2021年総会の概要

行方代表より第1号議案(活動報告)及び第3号議案(役員の改選)の説明があり、後述のとおり承認された。第3号議案については、副代表の豊田紳二OBが退任し、新たに新役員として厚木紗里OBがHP担当の役員に就任した。その他役員の担当業務の変更が次のとおりである。

代 表 行方正幸 (S50年卒) 稲山会通信担当
副代表 常数英昭 (S49年卒) 総務・コーチ会担当
副代表 倉川秀明 (S51年卒) 総務・コーチ会担当
名達一彦 (S50年卒) 事務局長・総務担当
松村幹雄 (S48年卒) 行事担当
後藤洋一郎 (S49年卒) コーチ会担当
柴原 至 (S52年卒) 会計・行事担当
鹿間行喜 (S52年卒) 総務・行事担当
三宅辰幸 (S52年卒) 総務・会計担当
山本達也 (H17年卒) 現役担当
厚木紗里 (H31年卒) HP担当
新井昭夫 (S46年卒) 顧問
豊田紳二 (S47年卒) 顧問



続いて、柴原 OB（会計担当）から第 2 号議案(会計報告)について、説明があった。また、2 月 1 日時点の会費納入者は 74 人で、昨年より 40 人少ない。昨年は新年会の時に納入する会員も多かった。**会費の未納は活動の根幹に係る問題なので、まだ未納入の会員に機会あるごとをお願いをしていこうと要請があった。**

【ゆうちょ銀行内の振込口座番号:00100-2-333067:稲門山の会】

【他行:ゆうちょ銀行+店番号 018+普通預金 5130715:稲門山の会】

次に、名達 OB（事務局長）から議案の文書決議について、次のとおり報告があった。

1 号議案 賛成 72 反対 0 保留 1

2 号議案 賛成 73 反対 0

3 号議案 賛成 72 反対 0

保留の意見は「過去同様の目的で東京都岳連に加入したが、うやむやの内に退会した。趣旨は良いが過去の検証をしないと日本山岳会の加入が無駄になる」というもの。

これについて、行方代表から古くから日本山岳会の個人会員なので山の会の加入が無駄にならないよう見ていく旨発言があった。

2. 新旧役員交代の挨拶

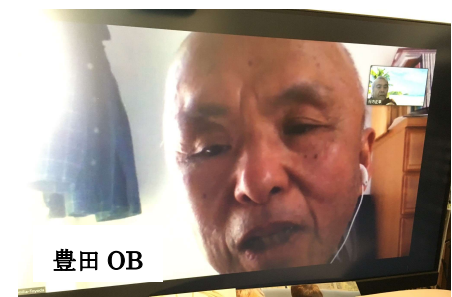
【厚木 OB】5 年前の山の会の幹事長で社会人 2 年目。パソコンは苦手な苦戦しているが、ホームページ担当役員なので島田 OB の指導を受けながらきちんと引き継いでいく。また、今の現役はあまり知らないけど頑張ります。

【豊田 OB】以前から 70 歳になったら公職は辞めようと思っていた。今年スペインに移住するはずだったがコロナで中止となった。若い人たちには上下関係なんか気にしないでやりたい登山をやって欲しい。

3. 現役の活動報告

【斉藤壮呉前副幹事長】昨年は 10 月に山の活動が再開できた。それまでは、講習会をオンラインでやったり、OB との知識の共有ができたのは良かった。今年の新人は 8 人で、まだ会としての登山活動はできていないが、個人的にジムの壁登りやハイキングに行っている。10 月 15 日に新歓で奥多摩に行き、それ以降も毎月新人を連れて個人山行に行っている。

【坂田弦新幹事長】いま対面での活動ができないので、週に 1 回オンラインミーティングをやっている。コロナで学生課から 3 月までもサークル活動をしないように要請があるので、4 月の新歓から活動を始める。新人が入ったら夏合宿は是非やりたい。





昨年 2020 年の新年会・総会の集合写真



来年はまた新年会・
総会で会いましょう

4. 意見交換

今後の「山の会」の活動についてOBと現役の間で活発な意見交換が行われた。主な内容は次のとおりである。

- ・山の会の活動を写真や記録で残して欲しい。稲門山の会（OB）として、遭難やコロナ対策で十分に謳歌することのできなかった現役の活動を暖かい眼で応援してきたいと思う。（OB）
- ・雪山へ行く場合どのような装備と技術が必要か、また先輩の武勇伝なんかも聞きたい。（現役）
- ・コロナが収束したら夏（秋？）にキャンプや暑気払いなど OB・現役が交流できる場を持ちたい。（OB）
- ・雪山に行くときは安全第一で行って欲しい。遭難やコロナで雪山だけでなく、登山技術などの継承がこの2年くらいできていない。OBの高齢化で技術指導が困難になっており、役員の若返りが必要だ。（OB）
- ・現役の遭難対策や雪山技術の向上については日本山岳会 Youth Club の講習会を検討してみる。（OB）
- ・山へ行くときは、安全上も仲間がどんな人間か知っておくことが大事だ。昔は長い夏合宿などがあり、自然とお互いを知ることができた。それが一生の友達となる。（OB）
- ・海外遠征のときの外国語の取得はどのようにしたのか？（現役）
- ・豊田 OB からヒマラヤとアンデス遠征のとき現地でスペイン語をマスターした。今でも毎日 NHK の英会話を 1 時間勉強してる。（OB）
- ・最後に常数副代表がメの挨拶で、学生時代の 1972 年に同期と一期下の会員と劔沢で流星群を観測した思い出を語り、オンライン総会は閉会となった。

以上

